2018.11.18
『第四回ひのまるマルシェ』の目的はこれだの巻

『ひのまるマルシェ』
活動人口・関係人口倍増計画

Wonderful Life まちづくり事業

目次

1. 第四回ひのまるマルシェ概要
2. イベントのねらい
3. マルシェとは？
4. ひのまるマルシェとは？
5. ひのまるマルシェの取り組み
6. ひのまるマルシェの効果①
7. ひのまるマルシェの効果②
8. 参考①出展者の声
9. 参考②ひのまるマルシェの関わり方例
10. まとめ：みんなでつくる活気あるまち
11. 事業者詳細

第四回ひのまるマルシェ概要

- 開催期間
  - 平成30年11月18日
- 開催場所
  - ブルーメの丘　園内芝生広場
- イベント時出展内容
  - 食事ブース、物販ブース、体験ブース、音楽タイム
    詳細は別紙（1チラシ案2出店要綱）
  - 食品取扱あり、火器（カセットコンロ）使用あり、電気使用あり
  - 保健所への催事開催届出予定、消防への火器使用届出予定
  - 出展者数約50（ステージを除く）
- スケジュール
  - 準備8:00～
  - 開催10:00～16:00
  - 片付け・清掃17:00完了
- 協力・後援
  - 後援：日野町・日野町教育委員会・日野町社会福祉協議会・日野町商工会・日野観光協会

イベントのねらい

日野町および周辺地域の多くの方に

多様な“こだわりのカタチ”を

知ってもらう、見てもらう、感じてもらう、食べてもらう、体験してもらう、参考にしてもらう。

同時に、食育、多世代間交流、新規事業の創出、既存事業活性化も狙いとする。

活動人口の増加！

関係人口の増加！

地域最大のテーマパーク
ブルーメの丘による相乗効果！

マルシェとは？

青空市場から企業系まで目的は様々

市場系	• 地域・営農・JAなどの市場
好き寄り系	• 主催者の趣味で集うことが目的。 • 内輪感がある。
ナチュラル系	• 天然・自然・オーガニックの好き寄りの集い。 • こだわりが強いため参加ハードルが高い。
企業系	• 広告宣伝が目的。
自治体・行政系	• 納涼祭・文化祭・フリーマーケットと同意がほとんど。 • 住民への福利厚生として多くが安い。
ひのまるマルシェ	• 知る・見る・体験するというような学びの機会を提供することを主催者目的とする。

ひのまるマルシェとは？

- 町内外からこだわり出展者が集結！とってもこだわり市
  （行政や商工会のイベントは安く楽しんでもらう福祉色が強く、こだわり系のみが集合するイベントは今までなかった）

- 素材・調理法・制作方法・表現方法・価値観・生き方など、**すべての出展者が個性的な専門家**（プロフェッショナル）
  例）冷凍の唐揚げ、枝豆、フランクフルト、普通の焼きそば、などは禁止

＜参考＞

第一回ひのまるマルシェ　5/21
http://enjoy-wonderful-life.com/hinomaru-marche-vol1
出展者数33（町内15町外12ステージ6）

第二回ひのまるマルシェ　11/19
http://enjoy-wonderful-life.com/hinomaru-marche-vol2
出展者数46（町内20町外20ステージ6）

第三回ひのまるマルシェ　5/20
http://enjoy-wonderful-life.com/hinomaru-marche-vol3
出展者数47（町内13町外29ステージ5）

ひのまるマルシェの取り組み

民間による非営利ビジネス！

- 助成金なし。
- 非営利活動をビジネス化。
- イベントのみで、チラシ・ポスター作成、広告・運営などのコストを回収する。

出展リスクを最小化し新規出展を促進！

- 出展料は任意（0円OK）なので赤字出展者なし！
- こだわりの文章化をサポート。

ステージ出展者も黒字！

- ドネーション（投げ銭）制度。
- 毎ステージMCで説明。

こだわりを見える化することで学びを促進！

- こだわりをホームページにて全出展文章化。学びの機会を来場者任せではなく、能動的に働きかけています。

地域間交流を促進！

- 当日に出展者交流会を開催し、交流を積極的に促します。

全員が楽しむ！

- 関係者全員が自らすすんで参加しています。（あて職なし）
- 全スタッフに飲み食いチケット有り。

※【重要】営利・非営利の違い
営利組織は利益分配を目的としています。非営利組織は活動自体を目的としています。
非営利組織は、売上や利益をあげてはいけない＝ボランティア、というのは間違いです。
仕組みとしては、営利組織は利益を分配、非営利組織は利益を活動に再投資します。
活動の継続性を高めるためには、非営利組織であっても利益を確保できる活動が求められます。

※Wonderful Life は非営利活動のビジネス化（仕事化）を目指しています。

ひのまるマルシェの効果①

活動人口の増加

自分で意思決定をする
社会的に活動的な人のこと

機会損失を補う

- 日野町に住んでいるとないかもしれない、知る・見る・体験するという機会を提供する
- 何かを感じる・発見してもらい、**人生の選択肢・可能性**を一つでも、増やすきっかけに

→①地域活性化

- 新規事業者の創出・支援
- 生産者、創造者、消費者を育む（社会教育・食育）
  ※価値のあるものは価値に見合う価格設定を！
- 既存事業者への刺激
- 地域に貢献できる人材の育成・発掘

→②Uターン促進

- 日野町にも面白い集まりがあったなあ・・・
- そういえばあんなことしている人がいたなあ・・・
- 豊かな人生ってなんだろう・・・
- 田舎に住んでいてもいろんな仕事、生き方があるんだ！

関係人口の増加

住んでいなくても継続的に
特定の地域に関わる人のこと

交流

- 異業種
- 多世代
- 他地域

→①つながり化学反応

- ジョイントビジネス
- 広域連携

→②Iターン促進

- 日野町には面白い集まりがあるなあ・・・
- 自分もやりたいことができるかも！
- 田舎に住んでいてもいろんな仕事、生き方があるんだ！

ひのまるマルシェの効果②

- 活動人口・関係人口が増えると、多くの問題解決の糸口になる？！
  - 学区維持問題
  - 空き家問題
  - 耕作放棄地問題
  - 集落維持問題
  - 事業継承問題
  - 伝統文化維持問題
  - 自治財政問題

参考①出展者の声（1）

①【da-na】Iターン日野町在住：第一回第二回第三回出展

「ひのまるマルシェ」が日野町で2度開催され、いずれにも参加させて頂きました。

「マルシェ」という言葉だけを目にすると、そのマルシェを企画・運営する生産側と、そこに足を運び買い物をする消費側という構図が浮かび上がり、その主催目的は何なんだろうと考えてしまいます。まちおこしという視点、企業PRという視点、他のイベントの集客という視点など目的はさまざまありますが、WonderfulLifeさんの目的は「楽しむ」ことです。楽しむことから個々の目的が生み出されていくようなイメージではないでしょうか。

ここには、先に述べた「マルシェ」に対する一般的な構図はなく、生産側と消費側を掛け合わせたプロシューマー的な考えが存在しているようにも感じます。当然、「ひのまるマルシェ」でいうWonderfulLifeさんのような、その場を指揮する存在は欠かせないものですが、他のマルシェと違うのはWonderfulLifeさんはあくまでも「楽しむ」きっかけを創っているにすぎないことです。ですから、我々も「出展者」という意識ではなく「プロシューマー」として自らのこだわりを自ら楽しみ広めることが出来るし、そこに集まる人々や他のプロシューマーとの交流も楽しむことが出来ます。WonderfulLifeさん自身も生産消費者となり楽しんでおられます。

世間ではある一定の「マルシェ」という認識が先行するため、「ひのまるマルシェ」が生み出す空気が伝わるのには時間を要すると思いますが、これを続けることで立場や世代に関係なく純粋に「楽しむ」場がひとつひとつ定着していくかと思うので、WonderfulLifeさんの活動に今後も期待しています。

②【向町カフェ】Uターン日野町在住：第一回第二回第三回出展

企画の時から、日野でマルシェをやるってことにワクワクドキドキをもらっていました。

主催者と出展者のみんなが日野に対する想いが強く、日野で何か楽しいことを！嬉しいこと！ハッピーなこと！という想いがたくさん詰まったマルシェです。

出展者にはこだわりがある逸品を！といつも声をかけてくださって、みんながこだわりの逸品を出展する事でさらにひのまるマルシェがギュッと素敵になるんです！

私はひのまるマルシェしか出展したことがないのですが、暖かい人と物と空気でできているなぁと。ここにずっといたいなぁと。思えるマルシェです。

私自身、このマルシェでたくさんの繋がりができ、経験もさせていただけて、いつも違う一歩を踏み出すことができています。

みんなが好きな日野町に楽しい！おもしろい！新しいなにかを！そんな想いが詰まったマルシェがひのまるマルシェかなと私は思います。

参考①出展者の声（2）

③ 【ファンキーファームタナカ&ロハス居酒屋倖屋】
Uターン野洲市在住：第一回第三回出展：現野洲市議会議員

ひのまるマルシェはこれから求められる地方の可能性がみえるとても面白い場所。地方の若者が出ていきたいと思う都市部から帰ってきた主催者。都会から移住してきた主催メンバー。それぞれがそのセンス、生き方を披露する場所になっています。日野でも面白いことが、面白い生き方ができる。おもしろい人たちがいる。それは若い世代の地域での自己実現のサポートになるかもしれない。出ていったとしても帰ってくる受け皿になれるかもしれない。そんな可能性を秘めたマルシェです。そういったこともあり、同じマルシェ主催者としても市議会議員としても面白いと思って参加しています。多様性が必要になってくるこの先、ちょうどいい田舎のちょいどいい生き方を応援して、共に創っていきたいと思います。これはまさに市民主導の新しい公共サービスの創造です。

参考②
ひのまるマルシェの関わり方例

1. ひのまるマルシェを**楽しんでみる**
   - 見て知って聞いて食べて体験して（感想を話し合う機会をつくる）

2. ひのまるマルシェに**関ってみる**
   - スタッフとしてイベント運営や出展者について詳しく学ぶ機会を得る

3. ひのまるマルシェに出展する**案を考えてみる**
   - 実際に出展するとしたら？こだわりって？どのように表現する？商品開発の機会にする

4. ひのまるマルシェに**出展する**（審査あり）
   - ほぼノーリスクでプロとしての経験を積める貴重な機会

※まずは「1. ひのまるマルシェを楽しんでみる」がオススメです。

※日野高校に企画提案済み。

まとめ：みんなでつくる活気あるまち

- 特にこだわりを具体的に表現している人たちが、日野町で多世代・異業種問わず集まる機会は、『ひのまるマルシェ』だけです。
- 多くの人に体験として残った記憶は、今後の人生に大きく影響します。
  - 日野町にも面白い集まりがあったなあ・・・
  - そういえばあんなことしている人がいたなあ・・・
  - あのときのあれ、これに活かせないかな・・・
  - 豊かな人生ってなんだろう・・・
  - 田舎に住んでいてもいろんな仕事、生き方があるんだ！
- 活動人口・関係人口の増加により、思わぬ化学反応が！？

老若男女、官・民、町内・外、多くの人が積極的に関係を持ってほしい！
↓
『ひのまるマルシェ』＝“あなたの楽しいがまちづくりになる！”

事業者詳細

- 屋号 ： Wonderful Life（ワンダフルライフ）
- 代表 ： 野矢貴之
- 所在地 ： 日野町西大路1389
- ポリシー ： 地域の課題を、地域資源を活用し、仕事化して解決する
- 主な取り組み
  - まちづくり事業『ちょうどいい田舎暮らしとちょうどいい田舎づくり』
    - イベント
      - ひのまるマルシェ
      - みんなのおさがり~ひのまるFashionSwap~
      - みんなで呑みにケーション
    - 地域資源活用
      - 田舎体験民宿　SunField
      - 無農薬たんぼ　田守倶楽部
      - 自然食品コーナー　ひとさじ
    - 滞在型グリーンツーリズム
  - 集客コンサルティング事業
    - 自営業支援・創業支援・商店街支援